

日年九月廿四日國御札祭り  
 百々御札代末中より  
 初より八月迄迄御札之遠州迄下  
 尾物御福を南西より富負  
 之重なる御札降日此札も  
 太神宮社前山金比羅山其并  
 下播磨豊川勢田より幣以松平

四像佛神之名号冬金佛像  
 石洞之佛像四像善光如来  
 四像或石佛小佛其兼より  
 登云降より上清抄降日米  
 之志降より  
 一 拙宅より九月九日朝  
 善光如来本寺降天降  
 十月三日  
 勢田皇太神宮天降 降日  
 十月十日  
 金比羅山天降 降日  
 石之神拙宅より降日村中  
 降日朝降日降日二牧降日由  
 降日朝降日山

十月廿九日雨の甚しき礼参り有村  
方熟を極るは、前より其  
を、村中の掃宮台、新宮台、  
深目山あり

神酒罷しお殿より流るり

青木久三郎

山崎九郎

山崎宗右衛門

山崎若吉

山崎信平

七尾門

加藤

後年

惣所

石水信之助、後、夕方より  
御座り、又、王の御座り、  
少礼、降る由、下、た、石、極、者、未

中、山崎、自、家、に、  
以、前、一、歩、下、り、南、村、に、  
皆、極、を、過、る、る、  
と、り、又、七、日、位、  
踊、り、歩、き、い、  
近、踊、り、  
其、松、は、年、々、  
夫、老、り、  
踊、り、歩、き、  
其、致、  
少、り、